

令和5年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

75

福岡県立八女工業高等学校

Table with columns for self-evaluation (自己評価), school relationship evaluation (学校関係者評価), and specific evaluation items (評価項目). It includes detailed descriptions of school activities, goals, and results, along with evaluation scores (A, B, C, D) and comments from the school relationship evaluation committee.

広報・情報課	・広報活動の促進・充実	・八工Newsを年5回以上発行する。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度よりInstagramの運用を始め、学校HPやTwitterと合わせて様々な情報発信を行うことができた。来年度は、年間行事予定を参考に広報活動の年間予定を作成し、中学校や地域への情報発信を行っていく。</li> <li>・校務用データだけでなく、外部からのデータについても注意喚起を行い、適切なデータ管理を行うことができた。来年度は、福岡県警のHPを参考に、ランサムウェア等の脅威やヒューマンエラーによる情報漏洩について注意喚起する。</li> <li>・Googleサービスの一部が運用されなくなることから、ICT支援員の協力を得ながらGoogleサービスの代替を検討する必要がある。</li> </ul>	A	<p>学校案内パンフレットや学校のホームページ等の充実を図って、本校の魅力を中学生やその保護者、地域にできるだけ最新の情報などを配信して生徒募集に繋げていただきたい。ICTを活用した効果的な授業の推進のためには、タブレット端末の有効利用が重要になってくる。次年度もこれまでに以上積極的に端末の利用促進を図っていただきたい。</p>
		・学校HP、Twitter、Instagramの迅速な更新、管理運営を行う。	A					
		・学校案内を充実させ、本校に興味を持てるものにする。	B					
		・中学校訪問時の資料等の常時更新と最新の情報発信に努める。	B					
生徒指導課	・交通安全教育の推進	・タブレット端末等の利用法を確立し運用する。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挨拶を行う生徒の減少に伴い、明るく元気な挨拶ができる生徒も減少している。まずは校内で活発に挨拶が交わされるように、全校集会や学年集会等においての指導を積極的に行い、改善を図る。生徒たち自身が挨拶の盛んな学校であると胸を張って誇れる意識改革に努めたい。</li> <li>・問題行動による停学者や生徒間での人間関係によるトラブル等が多々発生したが、職員間で連携を取ることで、当該事項の解決や再発防止に向けた取り組みを速やかに行う事ができた。今後は停学者ゼロと未然にトラブルを防ぐための啓発を十分に行っていくたい。</li> <li>・交通事故や交通違反の件数は昨年度と比較し、大幅に減らすことが出来た。しかし、運転マナー等において外部より連絡をいただく機会が多々あった。定期的にバイク通学者や自転車通学者に対して注意喚起や指導を行い、事故や違反の件数ゼロに向けた取り組みを行っていくたい。</li> <li>・学校行事に関してはコロナ以前の形態に少しずつ戻ってきたが、生徒主体で活動していくための事前指導や根回しが十分ではなく、指示待ちになる場面が多々見受けられた。自主的・自発的な行動を生徒自身が考えて動ける機会となるよう学校行事をもっと成長の場にしていきたい。</li> </ul>	A	<p>日常の学校生活で生徒指導が組織的に行われ、規範意識や礼儀作法も向上しているかに思われる。問題行動や交通事故、怪我等起きないように日頃からの生徒の規範意識の向上に勤めていただきたい。また、本年度は、新型コロナが5類に移行したこともあり生徒が自主的に学校行事に取り組む姿が多く見られた。さらに意識を高揚させるとともに、部活動のさらなる活性化にも重点的に取り組み、生徒の人的成長につながる指導をお願いしたい。</p>
		・ネットワークの安定運用	A					
		・ICTを活用した効果的な授業の推進	A					
		・校務用サーバのデータの整理・適正化・暗号化を図る。	A					
生徒指導課	・生徒の自主的活動の充実	・自主的かつ積極的な挨拶を通して、魅力的で気持ちの良い挨拶ができる学校となることを目標とし、人から愛され、自らが誇れる生徒の育成を目指す。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挨拶を行う生徒の減少に伴い、明るく元気な挨拶ができる生徒も減少している。まずは校内で活発に挨拶が交わされるように、全校集会や学年集会等においての指導を積極的に行い、改善を図る。生徒たち自身が挨拶の盛んな学校であると胸を張って誇れる意識改革に努めたい。</li> <li>・問題行動による停学者や生徒間での人間関係によるトラブル等が多々発生したが、職員間で連携を取ることで、当該事項の解決や再発防止に向けた取り組みを速やかに行う事ができた。今後は停学者ゼロと未然にトラブルを防ぐための啓発を十分に行っていくたい。</li> <li>・交通事故や交通違反の件数は昨年度と比較し、大幅に減らすことが出来た。しかし、運転マナー等において外部より連絡をいただく機会が多々あった。定期的にバイク通学者や自転車通学者に対して注意喚起や指導を行い、事故や違反の件数ゼロに向けた取り組みを行っていくたい。</li> <li>・学校行事に関してはコロナ以前の形態に少しずつ戻ってきたが、生徒主体で活動していくための事前指導や根回しが十分ではなく、指示待ちになる場面が多々見受けられた。自主的・自発的な行動を生徒自身が考えて動ける機会となるよう学校行事をもっと成長の場にしていきたい。</li> </ul>	A	<p>日常の学校生活で生徒指導が組織的に行われ、規範意識や礼儀作法も向上しているかに思われる。問題行動や交通事故、怪我等起きないように日頃からの生徒の規範意識の向上に勤めていただきたい。また、本年度は、新型コロナが5類に移行したこともあり生徒が自主的に学校行事に取り組む姿が多く見られた。さらに意識を高揚させるとともに、部活動のさらなる活性化にも重点的に取り組み、生徒の人的成長につながる指導をお願いしたい。</p>
		・問題行動を未然に防ぐために、全職員が積極的な生徒指導を行い、問題行動が生じた際には速やかな情報共有を行い、問題解決のために組織的に対応する。	A					
		・「いじめ防止・いじめ撲滅」に対する全職員・生徒の意識の高揚を図るとともに、「いじめの早期発見・早期対応」を組織的に実践する。	A					
		・登下校時の交通指導や二輪車安全教室を通して、交通ルール・交通マナーに関する意識の高揚を図り、交通事故や交通違反者の件数の減少に繋げる。	A					
保健環境課	・美化意識の向上と環境保全	・登下校時の交通ルールやマナーについて、地域住民からのご指摘を真摯に受け止め、学校全体への啓発の機会となるよう対象生徒のみならず全生徒への意識の高揚に努める	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒保健委員会、美化委員会ともに委員長を中心に委員会活動が活発に実施できたので、次年度はさらに充実させ、全校生徒の意識の向上を図る。</li> <li>・保健環境課の組織は昨年度より機能できていた。今後もマンパワーに頼ることなくそれぞれが動きやすい体制を整える。また、全体でも対策委員会を組織し連携を強化していきたい。</li> <li>・月一回、SOを交えて教育相談委員会を実施することができた。担当職員や関係機関との連携をさらに密にし組織的な支援を行う。</li> <li>・毎日の健康観察の徹底を継続する。また、場面に応じた感染対策の意識付けを行う。</li> <li>・職員間での情報提供・情報共有を確実にし、ゴミの処理をはじめ、校内清掃の意識向上を目指す。</li> <li>・今年度も多数の献血協力を頂けた。来年度も協力を呼びかける。</li> </ul>	A	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、新型コロナが無くなったわけではなくコロナや季節性のインフルエンザなど今後も感染症感染拡大防止には努めなければならない。学校の教育活動が問題なく実施できるように予防対策の徹底をお願いしたい。</p>
		・部活動を通して豊かな人間性の育成と体力の向上、健康の増進を図る。	A					
		・学校行事等における生徒の自主的運営の更なる充実を図る。また、新たな挑戦を通して失敗した経験も糧に成長を促していけるよう努める。	A					
		・挨拶運動のみならず、場に即した生徒の自主的啓発活動の充実を図る。	B					
保健環境課	・自己管理能力の育成	・登下校時の交通ルールやマナーについて、地域住民からのご指摘を真摯に受け止め、学校全体への啓発の機会となるよう対象生徒のみならず全生徒への意識の高揚に努める	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒保健委員会、美化委員会ともに委員長を中心に委員会活動が活発に実施できたので、次年度はさらに充実させ、全校生徒の意識の向上を図る。</li> <li>・保健環境課の組織は昨年度より機能できていた。今後もマンパワーに頼ることなくそれぞれが動きやすい体制を整える。また、全体でも対策委員会を組織し連携を強化していきたい。</li> <li>・月一回、SOを交えて教育相談委員会を実施することができた。担当職員や関係機関との連携をさらに密にし組織的な支援を行う。</li> <li>・毎日の健康観察の徹底を継続する。また、場面に応じた感染対策の意識付けを行う。</li> <li>・職員間での情報提供・情報共有を確実にし、ゴミの処理をはじめ、校内清掃の意識向上を目指す。</li> <li>・今年度も多数の献血協力を頂けた。来年度も協力を呼びかける。</li> </ul>	A	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、新型コロナが無くなったわけではなくコロナや季節性のインフルエンザなど今後も感染症感染拡大防止には努めなければならない。学校の教育活動が問題なく実施できるように予防対策の徹底をお願いしたい。</p>
		・毎朝の健康観察を通じて感染症等の予防と早期対応による感染防止に努める。	B					
		・各種行事を通じての健康・安全への啓発と実践力の育成を図る。	A					
		・保健委員長を中心に、主体的な委員会活動を支援し、活動の活性化を図る。	A					
保健環境課	・修学支援・教育相談の充実	・美化委員会の主体的な活動を支援し、各クラスの美化委員の意識を高めることで、全生徒の校内美化についての意識の向上を図る。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒保健委員会、美化委員会ともに委員長を中心に委員会活動が活発に実施できたので、次年度はさらに充実させ、全校生徒の意識の向上を図る。</li> <li>・保健環境課の組織は昨年度より機能できていた。今後もマンパワーに頼ることなくそれぞれが動きやすい体制を整える。また、全体でも対策委員会を組織し連携を強化していきたい。</li> <li>・月一回、SOを交えて教育相談委員会を実施することができた。担当職員や関係機関との連携をさらに密にし組織的な支援を行う。</li> <li>・毎日の健康観察の徹底を継続する。また、場面に応じた感染対策の意識付けを行う。</li> <li>・職員間での情報提供・情報共有を確実にし、ゴミの処理をはじめ、校内清掃の意識向上を目指す。</li> <li>・今年度も多数の献血協力を頂けた。来年度も協力を呼びかける。</li> </ul>	A	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、新型コロナが無くなったわけではなくコロナや季節性のインフルエンザなど今後も感染症感染拡大防止には努めなければならない。学校の教育活動が問題なく実施できるように予防対策の徹底をお願いしたい。</p>
		・学校行事及び日々の活動において、各クラス美化委員が、清掃への取組を積極的に行う。	A					
		・日々の清掃活動や各種行事を通じて、ごみの分別を徹底し、環境の保全に努める。	A					
		・生徒・保護者に対する啓発ならびに情報提供に努め、相談しやすい体制をつくる。	A					
就職対策課	・企業就職希望者に対する支援と100%内定合格	・二次試験対策(面接の対応)を具体的に示し、早めに対策できるようにする。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の3年生は、就職内定率99%(令和5年12月現在)であり、例年同様、生徒が希望している就職先へ内定をいただくことができた。これは、日頃から生徒と密に連絡をとっていた担任の先生をはじめ、学校全体で就職対策に取り組んだ結果でもあると考えている。</li> <li>・本年度の就職試験において、昨年度と同様にオンラインでの面接や試験、説明会が開催された。次年度以降も引き続きICT関係の充実が必要とされている。</li> </ul>	A	<p>今年度についても就職内定率が100%であったことは、本当に素晴らしいことである。公務員の合格者も毎年多く進路希望に対する対応がしっかりなされている。生徒が早期に自分の進路について意識づけができるよう今後も情報の収集と提供の充実をお願いしたい。</p>
		・職業観や勤労観、職業に関する知識や技能を身に付けさせる。	A					
		・3学年担任・学科と情報交換を密にし、求人情報等を共有する。	A					
		・ミスマッチの防止と早期離職防止を目指し、企業情報の収集に努める。	A					
就職対策課	・公務員希望者に対する支援と100%合格	・各教科と協力し、基礎学力の向上や、問題解決能力・コミュニケーション能力の育成を図る。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の3年生は、就職内定率99%(令和5年12月現在)であり、例年同様、生徒が希望している就職先へ内定をいただくことができた。これは、日頃から生徒と密に連絡をとっていた担任の先生をはじめ、学校全体で就職対策に取り組んだ結果でもあると考えている。</li> <li>・本年度の就職試験において、昨年度と同様にオンラインでの面接や試験、説明会が開催された。次年度以降も引き続きICT関係の充実が必要とされている。</li> </ul>	A	<p>今年度についても就職内定率が100%であったことは、本当に素晴らしいことである。公務員の合格者も毎年多く進路希望に対する対応がしっかりなされている。生徒が早期に自分の進路について意識づけができるよう今後も情報の収集と提供の充実をお願いしたい。</p>
		・一人一人の権利が大切にされている学校づくりを進めることによって生徒の修学を保障する。	B					
		・支援委員会を定例化し、各担任、各分掌、SC、SSW、訪問相談員、関係諸機関と連携して組織的な修学支援を行う。	B					
		・一人一人の権利が大切にされている学校づくりを進めることによって生徒の修学を保障する。	B					
進学指導課	・基礎学力の向上と進学に必要な知識の習得	・朝課外授業や土曜セミナーの実施により基礎学力の向上を図る。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の3年生は、就職内定率99%(令和5年12月現在)であり、例年同様、生徒が希望している就職先へ内定をいただくことができた。これは、日頃から生徒と密に連絡をとっていた担任の先生をはじめ、学校全体で就職対策に取り組んだ結果でもあると考えている。</li> <li>・本年度の就職試験において、昨年度と同様にオンラインでの面接や試験、説明会が開催された。次年度以降も引き続きICT関係の充実が必要とされている。</li> </ul>	A	<p>進学者に対する指導がしっかりなされていて、本年度は、佐賀大学や九州工業大学、同志社大学などに合格した生徒がいたことを伺った。次年度についても生徒たちが希望する進路実現に向け指導をお願いしたい。</p>
		・進学説明会を実施し、入試方法や手続きおよび進学先に関する情報収集に努めるように支援する。	A					
		・進学希望調査を実施し、詳細を調べさせることによって主体的な行動を促す。また、これを用いて必要に応じ個別指導を行う。	A					
		・大学等からの資料を関係する生徒に配布するなど情報提供を積極的に行い、生徒の主体的な行動を支援する。	A					
進学指導課	・主体的な進路選択の実現	・朝課外授業や土曜セミナーの実施により基礎学力の向上を図る。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の3年生は、就職内定率99%(令和5年12月現在)であり、例年同様、生徒が希望している就職先へ内定をいただくことができた。これは、日頃から生徒と密に連絡をとっていた担任の先生をはじめ、学校全体で就職対策に取り組んだ結果でもあると考えている。</li> <li>・本年度の就職試験において、昨年度と同様にオンラインでの面接や試験、説明会が開催された。次年度以降も引き続きICT関係の充実が必要とされている。</li> </ul>	A	<p>進学者に対する指導がしっかりなされていて、本年度は、佐賀大学や九州工業大学、同志社大学などに合格した生徒がいたことを伺った。次年度についても生徒たちが希望する進路実現に向け指導をお願いしたい。</p>
		・進学説明会を実施し、入試方法や手続きおよび進学先に関する情報収集に努めるように支援する。	A					
		・進学希望調査を実施し、詳細を調べさせることによって主体的な行動を促す。また、これを用いて必要に応じ個別指導を行う。	A					
		・大学等からの資料を関係する生徒に配布するなど情報提供を積極的に行い、生徒の主体的な行動を支援する。	A					
研修課	・『主体的・対話的で深い学び』を実現するためにアクティブラーニングの視点からICTを効果的に活用した授業改善の推進	・研究授業月間を設け、共通テーマの下に授業改善に努め、教科の指導力向上を図る。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も、授業改善にむけて更にICT活用が進んだ。教員のICTを活用した指導力の向上を図り、授業に活かすことを目的とした研修を複数回実施できた。動画視聴を通じて研修を深めるといふコロナ感染防止から学んだ研修形態を実施できたことも良かった。各自が自分の学びの進度に合わせた研修を実施できた。授業アンケートに関して、生徒・教師双方へのアンケートをClassroomを使って実施できたことで本校のICT化が着実に進んだ。アクティブラーニングについては多くの先生方が現状に配慮しつつ取り組んでいただいている。次年度はさらに生徒がICTを活用する場面を創出できるように職員研修を企画したい。研究授業月間は、今年度も感染症の影響で多くのクラスで学級閉鎖となり、実施計画を立てられない教科もあった。実施形態自体を見直す状況にある。これを契機として、次年度は実施形態の変更を提案したい。</li> </ul>	A	<p>授業改善の一つであるICTを使った授業が昨年以上に実施されていることについてはとても良いことである。生徒たちが学習に対して興味関心を持てるような授業の展開がなされるよう職員研修の充実を図っていただきたい。</p>
		・授業アンケートを年2回実施し、教員の授業改善と生徒の自学力育成を図る。	A					
		・ICTを活用し、授業アンケートの集計から結果の還元に至るプロセスの迅速化を図る。	A					
		・ICT活用をより一層推進し、本校の教育課題に応じた校内職員研修会の充実を図る。	A					
研修課	・職員研修の充実	・教員の自己研鑽の場として、校外研修への積極的な参加を促す。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も、授業改善にむけて更にICT活用が進んだ。教員のICTを活用した指導力の向上を図り、授業に活かすことを目的とした研修を複数回実施できた。動画視聴を通じて研修を深めるといふコロナ感染防止から学んだ研修形態を実施できたことも良かった。各自が自分の学びの進度に合わせた研修を実施できた。授業アンケートに関して、生徒・教師双方へのアンケートをClassroomを使って実施できたことで本校のICT化が着実に進んだ。アクティブラーニングについては多くの先生方が現状に配慮しつつ取り組んでいただいている。次年度はさらに生徒がICTを活用する場面を創出できるように職員研修を企画したい。研究授業月間は、今年度も感染症の影響で多くのクラスで学級閉鎖となり、実施計画を立てられない教科もあった。実施形態自体を見直す状況にある。これを契機として、次年度は実施形態の変更を提案したい。</li> </ul>	A	<p>授業改善の一つであるICTを使った授業が昨年以上に実施されていることについてはとても良いことである。生徒たちが学習に対して興味関心を持てるような授業の展開がなされるよう職員研修の充実を図っていただきたい。</p>
		・組織的な指導体制をつくり、充実した初任者研修を実施する。	A					
		・研究紀要の作成を計画的に行い、研修の成果を職員に還元する。	A					
		・各研修会の報告会を実施し、研修成果を共有する。	A					
研修課	・研修成果の還元と共有	・研究紀要の作成を計画的に行い、研修の成果を職員に還元する。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も、授業改善にむけて更にICT活用が進んだ。教員のICTを活用した指導力の向上を図り、授業に活かすことを目的とした研修を複数回実施できた。動画視聴を通じて研修を深めるといふコロナ感染防止から学んだ研修形態を実施できたことも良かった。各自が自分の学びの進度に合わせた研修を実施できた。授業アンケートに関して、生徒・教師双方へのアンケートをClassroomを使って実施できたことで本校のICT化が着実に進んだ。アクティブラーニングについては多くの先生方が現状に配慮しつつ取り組んでいただいている。次年度はさらに生徒がICTを活用する場面を創出できるように職員研修を企画したい。研究授業月間は、今年度も感染症の影響で多くのクラスで学級閉鎖となり、実施計画を立てられない教科もあった。実施形態自体を見直す状況にある。これを契機として、次年度は実施形態の変更を提案したい。</li> </ul>	A	<p>授業改善の一つであるICTを使った授業が昨年以上に実施されていることについてはとても良いことである。生徒たちが学習に対して興味関心を持てるような授業の展開がなされるよう職員研修の充実を図っていただきたい。</p>
		・各研修会の報告会を実施し、研修成果を共有する。	A					

庶務課	・綿密な行事計画の企画立案を行う。	・行事毎に業務の進捗状況を共有し、協力して業務を遂行する。	A	A	A	学校行事の立案や式典準備等は、コロナ禍以前での形式で行った。様々な先生方が準備・取り組みしやすいように、全ての立案・準備はコロナ禍前と昨年度のものを見直し共通理解を促し、また、新しい年度へと新たに立案・準備を行った。関係部署、関係職員、そして庶務課の先生方の協力により、令和5年度の行事を円滑に新しいものとして進めることができた。来年度は、今年度の取組を生かし、特に学校活動において所属感を体験できるように活動し、そのことで生徒、保護者等、教員との開かれた学校づくりにも繋がるようにしたい。	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校行事も以前の状態に近い内容での実施で令和5年度は計画がなされていった。今後、新型コロナウイルスやインフルエンザなど感染症の感染拡大を防止しながらの計画立案とはなるかと思われるが、新しいスタイルでの生徒が主体的に活躍できる行事となるようお願いしたい。
		・業務分担や業務内容の明確化を図り、早めに準備できるようにする。	B					
		・式等に、教員、生徒が所属感をより持てるような企画立案を遂行する。	A					
	・PTAとの連携を深め、活動を支援する。	・PTA主催行事において、保護者と職員、協力し支援する。	A	A				
		・学校・PTA行事に多数参加していただけるように、早めに広報活動を行う。	B					
		・関連部署との連携を図り、データの活用を推進する。	・行事の実施案を早期に提示し、調整に時間的な余裕を持たせる。					
・行事記録を整理し、関連部署との連携を推進する。	A							
・学校行事の様々な場面でICT機器活用を推進する。	A							
人権教育	・人権教育の充実と発展	・学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進し、全ての関係者の人権が大切にされている学校づくりに努める。	B	B	B	・学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進することは一定浸透してきたが、さらにその意識を高めていく必要がある。 ・人権教育授業については、各学年で工夫しながらとりくまれており、引き続き生徒の心に届く教育内容の提供に努めていきたい。 ・職員の研修に関しては、年度当初の計画に則って参加していただいているが、情報提供に努めて、自主的な参加も含めた参加態勢をさらに充実させていきたい。	A	大きな差別事象たるものは発生はしていないが、学校には、今後も修学が困難な生徒が入学してくることが考えられるため職員の研修会を実施していただき情報の共有を図ってほしい。
		・生徒の実態とニーズに応じた人権教育授業を実施し、差別を見抜き許さない力を保障するとともに、「ありのままの私」で生きられる、人権が尊重される社会を実現しようとする主体を育てる。	A					
		・職員の研修参加態勢の充実をさせ、人権教育に係る指導力の向上を図る。	B					
第1学年	・基本的生活習慣の確立	・皆勤者7割(170名)以上を目指し、遅刻欠席が多い生徒に対する面談を行い、改善を図る。また、家庭と連携して自尊感情の育成を図る。	B	B	A	・皆勤者は62%であり、目標に及ばなかった。感染症による学級閉鎖等で生活習慣が乱れたものと思われす。将来の進路確保の上からも体調管理ができるよう指導していきたい。 ・元気な挨拶はできるようになっているが、学年集会等で、早めに私語をやめ話を聞く態度や大きな声で校歌を歌えるような八工生としての誇りと責任感を醸成していきたい。	A	皆勤者の割合が目標とする数値に届かなかったことは、残念であったが、次年度については、本年度を少しでも上回るような結果となるよう指導をお願いしたい。日々の積み重ねが社会人となった時に活かされることとなり活力になると信じている。
		・生徒が報告・連絡・相談を徹底し、コミュニケーション能力を向上させ社会へ適応できる能力を育成し、将来の進路を自己決定できるようにする。	B					
	・規範意識の向上	・時間や規則の順守、主体的に挨拶する生徒の育成を目指す。	A	A				
		・保護者との連絡や学年の情報交換を密に行い共感的な人間関係の構築を図る。	A					
	・学習習慣の確立と基礎学力の向上	・授業において基礎・基本となる知識や技術を身に付け、家庭学習を定着させ理解を深める。	A	A				
		・進路実現に向けて専門的な資格取得に挑戦させ、目標を持った意欲的な学習態度を育成する。	A					
第2学年	・自立できる生徒の育成	・皆勤者200名以上を目標に、家庭と連携を深めながら、遅刻欠席が多い生徒に対する面談等の早期指導を行い、原因の究明と改善を図る。	B	B	A	・欠席や遅刻が続く生徒については、早期に担任・副担任等による家庭訪問を実施し、問題が深刻化する前に対応でき、問題の早期解決に役立ったと思う。 ・各種集会や学校行事等については、余裕を持って準備することを年間を通じて習慣化し、落ち着いて行事等に臨む態度を養うことができた。聞く態度も大変落ち着いて対応している。	A	修学旅行をはじめ諸行事に対し、意欲的に取り組み、学年の指導体制の充実が感じられた。次年度は進路決定の学年となるため生徒たちの進路実現のために、指導の徹底をお願いしたい。
		・学校行事等に主体的に参加し、自分の個性を活かしながら異なる意見や相手の立場を尊重できる態度の育成を目指す。	A					
	・考え抜く生徒の育成	・大人とのコミュニケーションを増やし進路実現に向け情報収集を行う。自分の適性を理解して課題解決に向けた準備ができる生徒を育成する。	A	A				
		・工場見学やインターンシップ、企業研修等の事前事後指導を充実させ、職業観を醸成する。	A					
	・基礎学力の向上	・基礎的な知識の定着とそれを達成するための家庭学習の習慣化を目指し、主体的かつ計画的に学習できる生徒を育成する。	A	A				
		・目標を明確にし、指示を待たず自ら行動できる生徒の育成。	A					
第3学年	・自立できる生徒の育成を図る。	・皆勤者200名以上を目指す。	B	A	A	・自分自身の考えを人に伝える力や人の意見を取り入れること、自ら率先して行動や準備は主体的にできたのではないと思う。 ・体育祭や八工祭など大きな行事もリーダーシップを発揮して実現でき、生徒一人ひとりの活躍の場が増え、生き生きとした姿が見られた。	A	新型コロナが5類に移行して、体育祭や八工祭(文化祭)が感染防止対策を徹底され以前の実施に近い状態で開催された。生徒たちの活躍する場面やのびのびと学校行事に参加している姿を拝見することができ嬉しく思う。今後も3年生のリーダーシップの元活気ある学校行事を計画立案していただきたい。
		・自分の個性を活かしながら、意見の違いや相手の立場を理解する力の向上を目指す。	A					
	・キャリア教育の充実を図る。	・生徒一人ひとりにあった進路指導を行い、生徒全員が納得できる進路実現を達成させる。	A	B				
		・コミュニケーション力の向上を図り、自分の適性を理解して、課題解決ができる生徒を育成する。	B					
	・主体的・協働的に学び向かい合う生徒の育成を図る。	・最上級生としての立場をふまえた上で、体育祭・文化祭など様々な行事に対して、主体的・協働的に参加し、学校の活性化を目指す。	A	A				
		・目標を明確にし、指示を待たず自ら行動できる生徒を育成する。	A					
電子機械科	・授業の改善と充実に努める。	・STEM教育を取り入れた授業に取り組む。また生徒が自由に意見交流できる授業づくりを行い、深い学びの場を提供するとともに共感的な人間関係の構築を図る。	B	A	A	・STEM教育を取り入れた授業を行うことはできているが、生徒同士の意見交流の機会を増やす必要がある。 ・課題研究発表等でプレゼンテーションをする機会を設けているが、その他の座学でも行う必要がある。 ・工場移設などの件で実施の難しかった高度熟練者による指導を行うことができたが、設備が不十分な点もあったので次年度へ向けて準備を進めていきたい。 ・資格取得に関してはジュニアマイスター取得へ向けて指導を行ってきたが、例年に比べて取得率が下がってきている傾向にある。生徒の特性に合わせた指導方法を検討する必要がある。	A	電子機械科の新棟が完成し、実習や実験などの実技を伴う学習の充実が見込まれている。機械の基礎基本をしっかり学び、さらにその知識や技術を応用できる技術者となるよう生徒たちをご指導願いたい。
		・生徒を指導する上で適切に褒めて伸ばし、自己存在感や自己有用性を育成する。	A					
		・授業と関連の深い資格試験を積極的に活用し、学ぶ姿勢と自学力の向上を図る。	A					
	・社会人としての基本マナーと社会常識を習得させる。 ・キャリア教育の充実を行い職業観・勤労観を養い、実社会で生きる力を育成する。	・コミュニケーション能力と問題解決能力及びプレゼンテーション能力の育成を図る。	B	A				
		・高度熟練者による指導を通して機械における安全管理・責任感・使命感等の人間性を育てる。	A					
		・生徒の一人ひとりの個性を生かした進路指導を行う。また保護者の希望を踏まえた上で、生徒自身が進路を決定する場を提供する。	A					
	・職員、生徒ともに専門性を高める。	・科の特性をふまえた適切な指導・助言に努め、ものづくりへの興味・関心を高めさせ、ロボット競技大会やものづくりコンテストなどの工業系の大会では、上位入賞を目指す。	A	A				
		・全職員で学習指導や面接指導、企業情報収集等を行い就職支援に力を入れる。	A					
		・製図検定、技能検定(機械系)、計算技術検定等、学科の専門性にあった資格取得を推進し、生徒全員をジュニアマイスターに認定させる。	A					

自動車科	・授業の改善と新しい評価方法の構築に努める。	・主体的・対話的で深い学びのためのアクティブラーニング型授業を推進すると共に、新学習指導要領に沿った、新しい評価の方法を模索する。	B	A	<p>・主体的・対話的で深い学びを実践するための授業手法および新しい評価の方法については、積極的に実践・検討を重ねてきたが、まだ改善の途中である。したがって、来年度以降も取り組みを継続していきたい。</p> <p>・ものづくりコンテスト全国大会の事務局業務については、学科や部署の垣根を超え校内で一致団結して取り組み、見事大会を成功させることができた。この経験を自動車科はもちろん、校内の様々な部署で活かし、次年度以降の行事運営をより充実したものに発展させるなど、学校活性化に繋げていきたい。</p> <p>・本年度は進路指導や資格指導において目標を達成したことはもちろんであるが、それだけでなく、在籍生徒の共通理解・対応に学科職員全員で全力で向き合い、生徒一人一人を大切に生徒指導・学科運営ができた。来年度以降も丁寧に生徒たちと向き合い、すべての生徒たちが「自動車科で学んで本当によかった」と思ってもらえるよう力を尽くしたい。</p>	A
		・授業や実習のあらゆる場面で、ICTの活用を推進する。	A			
		・教育活動のあらゆる場面で、リーダーシップとコミュニケーション能力を育成する。	A			
	・職員の専門性と教科指導力を高め、学科の活性化を図る。	・ものづくりコンテスト(自動車整備部門)において、全国大会優勝を目指す。	B	A		
		・学科内で研修を活性化させ、戦略的に自動車に関する技術・技能の伝承を図る。	A			
		・令和5年度ものづくりコンテスト全国大会の事務局業務に全職員一丸となって取り組む。	A			
	・生徒および保護者の、自動車科満足度160%を達成する。	・科職員全員が団結して3年生の進路指導にあたり、生徒全員、第1希望の進路を実現させる。	A	A		
		・3級自動車整備士試験および技能検定試験(機械検査)において合格率100%を目指す。	A			
		・すべての生徒がいきいきとして輝き、活躍できるように、生徒一人ひとりに寄り添う丁寧な教科指導、生徒指導に全職員で取り組む。	A			
電気科	<p>・座学と実験・実習との連携を強め専門教科の指導を充実させる。</p> <p>・自ら学習する意識と行動力の育成を目指す。</p>	・進路先の実務内容に対応できる実習を取入れ、座学と実習の連携を強める。また、Google Classroom等のICTを使った教育に力を入れる。	A	B	<p>・今後もICTを活用した授業実践を取り入れ、学力の向上に繋がるように指導していく。</p> <p>・実習では、来年度以降においても、必ずKYT(危険予知トレーニング)を意識した安全教育を実施し、実習のあらゆる場面で将来につながる安全教育に取り組む。</p> <p>・第二種電気工事士は、上期試験では2年生が全員合格することができなかった。下期試験で合格につながるように指導し、来年度以降も全員合格を継続していく。</p> <p>・進路面では、全職員が協力して生徒の進路指導を行い、3年生の進路決定をすることができた。今後も生徒の進路実現のため協力して指導していく。</p>	A
		・ものづくりに関連する項目を各学年で設定し、生徒の意欲・関心を高めさせ、学力の向上に繋げる。	B			
		・問題解決能力とコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力の育成を図る。	B			
		・社会人としての基本マナーと社会常識を習得させる。	B			
	<p>・産学官連携事業を通して職業観・勤労観を養い、実社会で生きる力を育成する。</p>	・日頃より服装、挨拶、清掃、遅刻、欠席、言葉遣い等に対する指導を徹底する。	B	A		
		・学校や科・クラスへの帰属意識を高め、学校行事に積極的に参加する意識を養う。	A			
		・産学官連携事業を通して、電気の業務に必要なとされる責任感・安全性・使命感等の人間性を育てる。	A			
	<p>・第二種電気工事士の全員取得を目指す。</p> <p>・職員間での進路に対する共通理解と企業情報を共有して、生徒の進路実現を目指す。</p>	・第二種電気工事士の全員取得を目指す。	A	A		
		・高度資格の指導を行い、自ら学び成長し社会貢献する意識を育てる。	B			
		・全職員で学習指導や面接指導等に力を入れ、生徒の進路実現を目指す。	A			
	情報技術科	<p>・自ら考え行動する力を育て、心豊かな人間の育成を目指す。</p>	・学校行事や学級活動等への主体的な取り組みを通して、自ら考え行動する力を育て、問題解決能力を高める。	B		
・クラス担任や教科担当者及び関係機関と協力し、生徒の状況を的確に把握する。			A			
・思いやりの心や感動する心を通して自己肯定感を高め、社会貢献する意識を育てる。			B			
<p>・キャリア教育を充実し、主体的に進路を選択できる能力を育む。</p> <p>・基礎と基本を重視した学習指導を行い、学力の向上を図る。</p>		・工場見学やインターンシップ等を通して、職業観・勤労観を育む。	A	A		
		・進路情報を職員で共有し、一人ひとりに応じた指導を行うことで、全員の進路実現を目指す。	A			
		・基礎・基本を重視し、さらに座学と実習の連携を強化することで、理解力を高める。	A			
		・ICT機器の活用を図ると共に、最新技術であるAI、eスポーツ等にも取り組み、情報技術への意欲的態度を育成する。	A			
<p>・実践的技術者としての意識と資質を育む。</p> <p>・ものづくり活動や資格取得等の指導を充実する。</p>		・高度熟練者による実践的な実習指導などを通して技術の向上を図り、技術者としての資質を高める。また、表現の場や協調の機会を数多く設け、表現力やコミュニケーション能力を育む。	A	A		
		・ものづくりコンテスト(電子回路組立部門)の上位入賞を目指し、さらに取り組みを強化する。	A			
		・個々の目標を達成できるよう適切な資格取得指導を行う。第2種デジタル通信は80%、ITパスポートは50%の合格率を目指す。	B			
土木科	<p>・主体的に学習する力を育成し、学習に対する意欲関心を高める。</p>	・新学習指導要領を踏まえ、観点別評価を充実させ学力の向上を図る。	A	A	<p>学校行事等を自ら考え行動できるように、発表する機会や活躍する機会を増やし、コミュニケーション能力の向上・主体性・リーダーシップ及びフォローシップの育成に取り組む。</p> <p>観点別評価が学力向上に繋がるよう、科で情報を共有し追求していく。また、ICT機器の活用を図りつつ、生徒を主体とした対話的な授業を展開し、深い学びに繋げる。</p> <p>生徒の自立を育成できるように、様々な場面を通して自己を知る機会を設け、継続して指導を続け進路実現に繋げていく。</p> <p>スケジュール管理や提出書類の把握など、社会性を身につけさせ、即戦力となる人材育成に務める。</p> <p>資格取得に関しては、測量士補では目標以上の成果を出すことができたが2級土木施工管理技術検定では目標を達成できなかった為、課題を把握し、来年度に向けて更なる指導体制を確立していく。</p> <p>進路実現のため、教科及び面接指導など指導体制の確立と学習支援の充実を図るとともに、説明会等を設け、生徒の勤労観・職業観を育成し進路意識を高める。</p>	A
		・ICT機器を効率的に活用し、学ぶ姿勢を含めた学力向上を図る。	A			
		・生徒を主体とした対話的な授業を展開し、深い学びに繋げる。	B			
		・職員の専門教科における情報の共有を図り、座学と実験・実習との連携を強める。	A			
	<p>・キャリア教育を充実し、主体的に進路を選択できる能力を育む。</p>	・就職に対する計画的かつ組織的な指導体制を充実させ、進路実現に繋げる。	B	B		
		・適切なガイダンスと意識を高める取組を企画し、生徒の進路選択の幅を広げる。	A			
		・HR活動を通して、生徒の発言する場を増やしコミュニケーション能力を育成する。	B			
		・体調管理を徹底し、欠席・遅刻・早退を減らし、各学年皆勤30名を目指す。	B			
	<p>・ものづくり教育や資格取得等、充実に努め、実践的技術者としての意識と資質を育む。</p>	・インターンシップや現場見学等の現場体験を充実させ、土木職に関する意識向上を図る。	A	A		
		・測量士補20名以上、2級土木施工技術検定25名以上の合格を目指す。	B			
		・資格指導の充実を図り、ジュニアマイスターシルバー以上の認定者を25名以上を目指す。	B			
		・ものづくりコンテスト福岡県大会2連覇に向け、職員・生徒間での技術継承をおこなう。	A			

工業化学科	・主体的に学習する意欲と学力の向上を目指し、確かな学力を育成する。	・専門科目および実習における観点別評価を定着させ、生徒が目標を持って主体的に授業に臨めるようにする。	A	A	<p>・専門教科や実習において観点別評価を行う上で、教員間で話し合いを重ね、評価を行うことができた。次年度以降も、教員間でのばらつきが起きないように話し合いを重ねて、観点別評価の定着を図りたい。</p> <p>・課題・レポートを提出期限の直前になり真剣に取り組む生徒や、資格取得に向けての勉強の取りかかりの遅い生徒が多い。学習習慣の定着を図るため、職員全員で工夫を凝らして取り組みたい。</p> <p>・学科全体で半数以上は1年間皆勤で来ている。しかし体調不良や発熱等により欠席する生徒も多くみられる。社会人になることを意識させながら体調管理や責任ある行動ができるよう日々の授業や実習等を通して指導していきたい。</p> <p>・今年度の就職希望者の、一次合格率96.9%で、ほとんどの生徒が一次で内定をいただいた。科の職員全員で取り組んだ成果と言える。次年度以降も第一志望100%の進路実現を目指したい。また、次年度も女子生徒が多く在籍しているため、各部署と連携を図りながら、進路実現に向けて早めに取り組んでいきたい。</p> <p>・資格取得において、科の職員全員で協力して指導を行い、甲種危険物取扱者を3年生7名と2年生1名が取得、高圧ガス製造保安責任者(丙種化学)試験に2年生2名が合格した。次年度以降も職員が協力して積極的に指導を行っていきたい。</p> <p>・学校行事や実習において、自らの役割を責任をもって行い、他の生徒と協力して取り組むことができるようになった。しかしながらリーダーシップを発揮して自ら引っ張っていける生徒が少ない。日々の授業や実習、行事において全員の生徒が前に出て活躍できる機会をつくっていきたい。</p>	
		・アクティブラーニング型授業の展開や、ICT機器を活用することで、授業や実習の改善・充実に努める。	A			
		・教員間で工業化学に関する技術・技能の継承を行う。	B			
		・専門科目や資格取得において、課題等を工夫して行い、家庭学習を含めた学習習慣を身につけさせると共に、自ら学ぼうとする姿勢を育成する。	B			
	・社会人として通用する資質・能力を身につけさせる。	・気になる生徒に関しては、教員間で情報交換を密に行うと共に、保護者と連携を取りながら組織的に対応する。	B	B		
		・遅刻・欠席を減らし、各学年80%以上の皆勤者を目指す。	B			
		・教室や実習室の環境整備を心掛けさせ、規範意識の向上に努める。	A			
		・実習や学校行事において、生徒にそれぞれの役割を責任感をもって取り組ませると共に、成功体験を通し、自尊感情の向上に努める。	A			
	・進路指導の充実と進路実現を目指し、キャリア教育の推進を図る。	・資格取得において、科の職員全員で協力して補習等による指導を行い、特に難関資格である甲種危険物取扱者や高圧ガス製造保安責任者等の資格保有者を増やす。	A	A		
		・科の職員全員で3学年担任をサポートし、学習・面接等の指導し、就職希望者の一次合格率100%を目指す。女子生徒の進路希望実現に向けキャリア教育部、学年と連携して取り組む。	A			
		・日々の授業や行事等において積極的に参加させ、リーダーシップやコミュニケーション能力等の社会人として必要となる資質を身に付けさせ、卒業後も活躍できる生徒の育成に努める。	B			
	事務部	・学校経営目標の実現のため、効果的な事務処理を行う。	・学校経営に積極的に参画し、各分掌と情報共有を図りながら、効果的な予算執行と事務処理を行う。	A		A
・生徒、保護者に対し、丁寧でわかりやすい情報提供を的確に行う。			B			
・職員と協力し、効果的な校舎構築工事を行うとともに、校内の安全確保に努める。			A			

A	<p>ワンヘルスの取り組みをされていて環境と地球上の生物の関係性を学び、地球環境と生物との関係を課題研究の授業で研究されていることを知りとても感動した。ワンヘルスの取り組みには、様々なものがあるが、こんごについても更に研究を深め外部等の発表で報告し認知度を高めていただきたい。</p>
A	<p>充実した教育活動の実施に向け、効果的な予算執行と事務処理等がきちんとなされている。大規模校舎改築工事が行われているが、式典関係で当面は、車の校内乗り入れができない不便な状態となり、近隣周辺に影響が出てくることになるが、何らかの工夫が必要となるのではないか、生徒や職員的安全確保もお願いしたい。</p>

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的活動の推進:生徒会活動・部活動・ものづくり活動を活性化し、主体的に行動できる生徒を育成する。</li> <li>・進路指導の充実:生徒に将来のビジョンを早期に考えさせることで目的意識を持たせ、自らの意志と責任で進路を選択し決定する力を身につける。</li> <li>・自己指導能力の育成:規範意識学習や日々の教育活動を通して、自ら律し行動できる生徒を育成する。</li> <li>・進路指導の充実:従来の進路情報の収集に加え、基礎学力テストの活用により、個々に応じた適切な進路指導を推進する。</li> <li>・企画広報活動の充実:広報活動・ボランティア活動等の充実により、学校の教育活動に対する理解を深め、地域との交流をさらにすすめる。</li> <li>・奉仕的精神の育成:ものづくりの学校として学校の特色を生かし、生徒が主体として地域貢献活動に積極的に取り組むよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀・服装・挨拶等の指導をさらに徹底し、生徒の規範意識、自尊心を高めてほしい。</li> <li>・全下校の電車の乗車マナー・自転車通学の交通マナーのさらなる改善をお願いする。</li> <li>・家庭状況等さまざまな問題を持つ生徒に対し、きめ細やかな指導の継続をお願いする。</li> <li>・部活動の活性化をお願いする。</li> <li>・女子生徒に対する進路指導の充実を期待する。</li> </ul>
---	--

評価項目以外のものに関する意見